

# Studyaid D.B. information vol.37

## ストレス解消の特効薬



プリントを作っているときに、「ああ～、うまくいかない!!」とイライラをつのらせ、ストレスを感じたことのある先生方に朗報です。ストレス解消の特効薬を処方いたします。

※ご紹介する機能はStudyaid D.B. 2008を例にしています。他のバージョンをお使いの場合、一部未搭載の機能もございます。

### プリントが1ページに収まらない!



どうしても1ページに収めたいのに収まらない、そんなときにおすすめの特効薬をご紹介します。

#### 特効薬その1：問題間隔を調整してみましょう

問題間隔を調整するといっても方法はいろいろあります。

##### ◆ 1問だけ調整

調整したい問題を選択して、  
右クリックメニューから [間隔変更]

##### ◆ 全問一気に調整

レイアウトスタイルの設定で変更

ショートカットキーもおすすめ!

Ctrl+Space：間隔を増やす

Ctrl+BackSpace：間隔を減らす



#### 特効薬その2：余白を調整してみましょう

余白の調整がうまくいかずに困ったことのある先生もいらっしゃるのではないのでしょうか?

Studyaid D.B.の特徴がわかっていると、余白の調整が有効に使えます。

Studyaid D.B.では、どんな判型でレイアウトしても問題の体裁が保たれるように、自動的にフォントサイズを拡大縮小しています。  
つまり、横幅の狭いスタイルにする程、フォントサイズは小さくなります。

##### ◆ 上下の余白を狭める

1ページに入る行数が増えます。

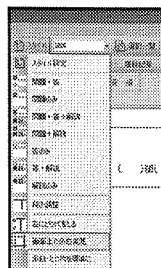
##### ◆ 左右の余白を広げる

フォントサイズが小さくなるので、  
結果的に1ページに入る行数が増える  
……かも?



[画面上で余白変更]  
がおすすめです。

即座に1ページに  
収まったかどうかを  
確認できます。



#### 特効薬その3：問題番号の表示方法を変更してみましょう

問題番号の表示方法が2種類あるのはご存知でしょうか?

問題番号を問題文の上に表示するAパターンと、問題文の横に表示するBパターンがあります。

Aパターンにしている場合、Bパターンに変更すると各問題から1行分ずつ減らしていくことができます。

A

①

次の問いに答えよ。

(1).....

B

①

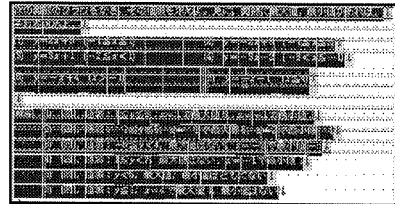
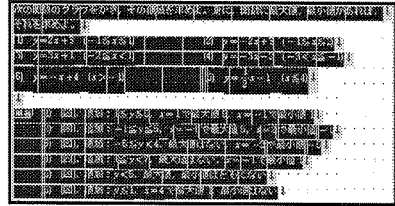
次の問いに答えよ。

(1).....

## 特効薬その4：行間を調整してみましょう

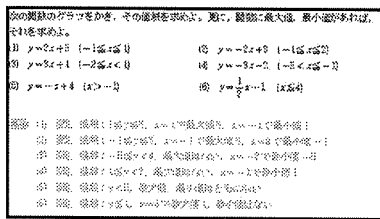
最終手段は行間の調整。行間は数値で指定することはできませんが、マウス操作でグッと狭めることができます。

- ① 行間を調整したい文章を反転選択します。
- ② メニューバーの [編集] → [文章] → [行間指定(G)] を順に選択します。
- ③ 行間を示す赤い線が表示されるので、マウス操作で確定します。

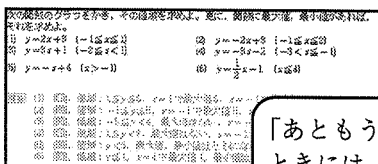


☆ 結果はこうなりました！

Before



After



「あともう少し！」というときには、空白行から調整するのがおすすめです。



図形がうまく選択できない！



「クリックしても選択できない」「複数の図形が選択できない」など、図形編集でストレスを感じている先生におすすめの特効薬をご紹介します。

## 特効薬その1：図形編集モードに切り替えてみましょう

文章が入力できる状態（文章モード）でも、図形の上でクリックすれば図形を選択することができます。でも、文章モードはあくまで文章が優先。本腰を入れて図形を編集するには少し不便なこともあります。こんなときには、ツールバーの [図・グラフを加工する] ボタンをクリックして **図形編集モード** に切り替えましょう。文章が選択できない状態になるので、図形が選択しやすくなります。もちろんドラッグ操作で複数の図形を一気に選択することもできるようになります。

## 特効薬その2：ショートカットキーを併用してみましょう

複数図形を選択したいときに便利なのは、ドラッグで選択したい図形を囲むことです。でも、選択したくない図形まで一緒に選択されてしまうこともあります。そんなときに便利なのが「**Shiftキーを押しながらクリック**」です。Shiftキーを押しながらクリックすると、複数の図形をクリックで選択していくことができます。また、選択済みの図形を1つずつ選択解除することもできます。

Studyaid 2009 速報

図形の編集がますます便利に！  
2つのショートカットキーが追加されます。

★ Shiftキー+ドラッグ：  
縦横比を保ったまま拡大・縮小

★ Ctrlキー+ドラッグ：  
複製しながら移動

## レイアウト内容を変更すると問題間隔を調整しなおさないといけない!



まずはテスト用紙作成のために「問題のみ」のレイアウトをして、問題間隔で解答スペースを作り印刷。次に模範解答作成のために「答のみ」のレイアウトをして、問題間隔を調整しなおして印刷。こんな風に、レイアウト内容を変えるたびに問題間隔を調整していませんか？面倒な編集をしなくてもすむようになる特効薬をご紹介します。



### 特効薬その1：レイアウト内容は変更せずに印刷パターンを変更してみましょう

解答スペースを作るためであれば、最初から「問題+答(+解説)」でレイアウトしておきましょう。印刷パターンで「答(+解説)」を空欄にする設定にすれば、解答スペースとして利用できます。模範解答は「問題+答(+解説)」のまま印刷すれば完了です。



### 特効薬その2：「問題、答、解説をそれぞれまとめてレイアウトする」設定にしてみましょう

残念ながら特効薬その1では「答のみ」のプリントや「解説のみ」のプリントは作れません。こんなプリントを作るときは「問題、答、解説をそれぞれまとめてレイアウトする」設定がおすすめです。その名の通り、1つのプリントの中で「問題」と「答」と「解説」をそれぞれまとめてレイアウトさせることができます。印刷のたびにレイアウト内容を変更する必要もなく、一気にテスト用紙、模範解答を作成することができます。

この設定にすれば、問題間隔も「問題」「答」「解説」それぞれ別々に一括して設定することもできます。



通常のレイアウト

表題 名前欄	_____
1 問	_____
答	_____
解説	_____
2 問	_____
答	_____
解説	_____

-1-

問題、答、解説を  
それぞれまとめてレイアウト

表題 名前欄	_____
1 問	_____
2 問	_____
1 答	_____
1 解説	_____
2 解説	_____

-1-

### Studyaidna 2009 速報

レイアウトの設定がますます多様化！  
今まではプリント全体で共通のレイアウト内容になっていましたが、1問ずつレイアウト内容を設定できるようになります。